

令和2年度各会計決算を認定

9月定例市議会が8月31日に招集され、9月17日までの18日間の会期で開かれました。上程された議案は、令和2年度各会計決算認定および令和3年度各会計補正予算など21件と報告4件で、すべて原案のとおり可決・認定されました。

上程された主な議案

◇にかほ市農業関連施設条例の一部改正

◇市有財産の無償譲渡
にかほ市黒川農業構造改善センターを、黒川自治会の地域活動や地域振興の拠点施設として活用するため、条例を改正し同自治会に無償譲渡します。

◇令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算とも539万7千円を追加し、予算総額は147億3、951万7千円となりました。

【歳出】

・飲食応援消費還元事業費 539万7千円

◇令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算とも8億1、188万5千円を追加し、予算総額

は155億5、140万2千円となりました。

【主な歳出】

・公共交通活性化支援事業費 1、066万9千円
・にかほ市フェアプロモーション事業費 224万3千円
・アウトドア拠点づくり事業費 4、624万9千円
・潮風公園トイレ改修工事 1、590万円
・道路除雪費 1億4、662万1千円
・凍上災害道路復旧工事 1億8、700万円

◇令和3年度にかほ市一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出予算とも393万6千円を追加し、予算総額は155億5、533万8千円となりました。

【歳出】

・小中学校抗菌・抗ウイルスガラスコーティング施工事業費 393万6千円

主な市政報告

◇新型コロナウイルス感染症対策

8月25日に、第29回新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、今後の対策の方針を協議しました。

県内、特に由利本荘保健所管内での急激な感染拡大や由利組合総合病院が外来診療などを一時停止したことなどを踏まえ、8月27日から9月12日までの間は市主催の会議、集会およびイベント等を原則中止または延期し、一部を除く市有施設の一般利用を休止しました。

◇普通交付税

今年度の普通交付税は、52億953万9千円と算定され、前年度確定額に対し2、877万1千円、0.55%の減となっています。

また、臨時財政対策債は前年度に比べ9、114万8千円、30.3%増加していて、これらを合わせた実質的な交付額では6、237万7千円の増となっています。

◇生理用品の無料配布

社会的な問題となっている女

売上げに繋がりました。

◇心付け納税

今年度のふるさと納税は、7月末時点で件数が9、034件、寄付額は前年同期比で81.2%増の1億3、377万5千円となり、前年度を上回る伸びを維持しています。

返礼品のバリエーションの充実やインターネット上のポータルサイトで上位に表示されるようなコンテンツの最適化など、これまでの取り組みが着実に成果として反映されたものと分析しています。

◇株式会社プレスステージ・インターナショナル新拠点の整備

今年3月に着工した同社の新拠点整備工事については、天候に恵まれ大きなトラブルもなく、地盤改良や基礎の工事が終了し、現在は鉄骨建方と屋根の設置を行っています。

8月末時点の工事進捗率は33%で、このまま順調に進めば来年2月までに建物工事が完了する見込みとなっています。8月末現在で、市内で働く同社の従業員数は260人ですが、来年4月の新拠点開設時には300人に、そして最終的には500人にまで増員する計画となつ

ています。特に女性の雇用拡大が期待され、市では引き続き市民の雇用をお願いしていきます。

◇移住者の起業促進

新聞等でも紹介されましたが、市内の空き家等を活用した飲食店の開業や、インキュベーション施設「わくばにかほ」を事業拠点とした若者による起業など、今年に入ってから移住者による起業が活発化しています。

これについてはさまざまな要因が考えられますが、「住みよさランキング」や「住みたい田舎ベストランキング」での高い評価や、これまで取り組んできた本市の魅力のPR効果が表れているものと捉えています。

今後設備投資などの創業費用の一部を補助する「創業チャレンジ補助金」のほか、市商工会との連携や「わくばにかほ」の活用を通じて、移住者の働き方の選択肢として起業を後押ししていきます。

◇アウトドアアクティビティ拠点施設(仮称)の整備計画

総合アウトドア企業の株式会社モンベルとの包括連携協定に基づき、昨年8月から進めていました「にかほ市アウトドアグランドデザイン(基本構想)」

の策定について、このほど同社から提案書が提出されました。

主な内容としては、本市の豊かな自然と地域資源を生かしたアウトドアアクティビティの振興と、それを軸としたエコツーリズムの推進による地域経済の活性化、そして市民の健康寿命の増進という3つの観点から、現地調査に基づく提案がなされています。

昨年末にグランドデザインの中間報告を受け、アウトドアフィールドの利活用に不可欠な拠点施設を、道の駅象潟「ねむの丘」のエリアに整備する方向で基本設計業務を今年4月に発注し、併せてこの拠点施設内への直営店舗(モンベルストア)の誘致を進めてきました。

このたび双方の方針が一致し、モンベルの直営店舗を含む「アウトドアアクティビティ拠点施設(仮称)」の実現に協力して取り組む旨の「基本合意書」を8月25日に締結しています。

現時点での計画では、今後12月定例会に建物の実施設計費に係る補正予算を、そして来年度予算に用地の造成工事費と拠点施設建設費を計上させていただき、令和5年度前半の完成を目指すこととしています。

性の月経に関する「生理の貧困」への対策として、高校生を含む一般女性を対象に希望する方へ生理用品を無料で配布します。また、市内の小・中学校においても学校内での無料配布を実施します。

これにより、困窮する方々の経済的負担の軽減とネグレクトの防止、生活困窮や健康管理の相談支援へとつなぐ取り組みを進めるとともに、今後は性差を理解し合うための講話の実施や情報発信も行っていく予定です。

◇にかほ市飲食応援消費還元事業

市内の参加飲食店において、店内飲食やテイクアウト等を利用することでポイントが貯まり、利用額のおおむね40%相当の商品券に交換できる「おでかけレストラン・おうちでレストラン」を6月1日から実施しました。当初設定した期限よりも早く応募数が上限に達したため、前倒ししてスタンプ押印を終了しています。

8月24日現在で、スタンプカード19、405枚を受け付け、利用された市民等への還元総額は5、821万5千円で、参加した飲食店においては合わせて1億4、553万円以上の

主な教育行政報告

◇最近の学校の様子

7月22日から始まった34日間の夏季休業も無事終了し、8月25日から2学期が始まっています。今年度は夏季休業前から暑い日が続きましたが、昨年度設置したエアコンのおかげで体調を崩す子どももなく、快適な環境の中で集中して学習を進めています。また、感染予防対策の徹底を継続しながらも活気ある学校生活を送っています。

2学期は学習に集中できる時期でもあり、また大きな行事を予定していることから、子どもたち一人ひとりが充実した学校生活を送ることができるよう引き続き学校と連携を密にしていきます。

また、今年度から導入された1人1台端末の効果的な活用に向けて、夏季休業中に全教員を対象とした情報教育研修会を実施しています。併せて、優れたICT活用技術を有する教員7人を「ICTマイスター」に任命し、1人1台端末を活用した授業実践に率先して取り組んでいます。